青森市名誉市民　第1号（1969年 / 昭和44年）

版画家（板画家）・芸術家　棟方　志功（むなかた　しこう）

「世界のムナカタ」として、愛される作家であり、その功績と親しみやすい人柄もあって、没後50年たった今でも、「志功さん」と青森市民に親しまれている。青森市内各所に、作品やエピソードがある。
また、「版画の街あおもり」として、市内の小学校の多くが、紙版画や木版画を経験しており、青森市で行われている版画のコンクールの名称にも使われている。
今回の大会で、志功さんの母校である長島小学校（入学当時は「長島尋常小学校」）の後輩に当たる児童たちの公開授業が予定されています。